

## 腸チフスについて

新潟県福祉保健部感染症対策・薬務課

## 1 腸チフスとは

- 腸チフスは、チフス菌による感染症です。アジア、中南米、アフリカ等世界各地でまん延しており、流行が繰り返されています。国内では、昭和の初めから終戦後にかけて代表的な感染症の1つでしたが、衛生的な環境の整備の進展に伴い患者数は急激に減少しました。現在、国内で発生する患者の多くは海外での感染によるものですが、国内発生例もみられます。
- (1) 種類 *Salmonella enterica* subsp. *enterica* serovar Typhi
- (2) 感染経路 患者や保菌者の便に汚染された食品や水を摂取することによって感染（経口感染）します。
- (3) 潜伏期間 通常7～14日（報告によっては3～60日）。
- (4) 症状 39～40℃の高熱、下痢または便秘などを呈し、まれに、腸穿孔、腸出血を起こすこともあります。
- (5) 治療方法 抗菌薬が有効ですが、南アジアや東南アジアでは薬剤耐性菌も多く報告されています。

## 2 予防方法。

- 流行している地域では、生水、氷、生野菜、カットフルーツなど加熱されていない食品を喫食しないようにしましょう。
- トイレの後や食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう。
- 腸チフスには予防接種がありますが、日本では未承認です。希望する場合は、輸入ワクチンを取り扱うトラベルクリニック等に確認してください。

\*予防接種実施機関検索：<https://www.forth.go.jp/moreinfo/vaccination.html>（厚生労働省検疫所 FORTH）

## 3 届出状況

届出数（件）	令和2年	令和3年	令和4年※
新潟県	2	0	1
全国	16	4	16

※令和4年12月25日現在（全国は令和4年12月18日現在）

## 4 学校保健安全法における扱い

第三種感染症に定められており、病状により学校医その他の医師が感染のおそれがないと認めるまで出席停止となります。